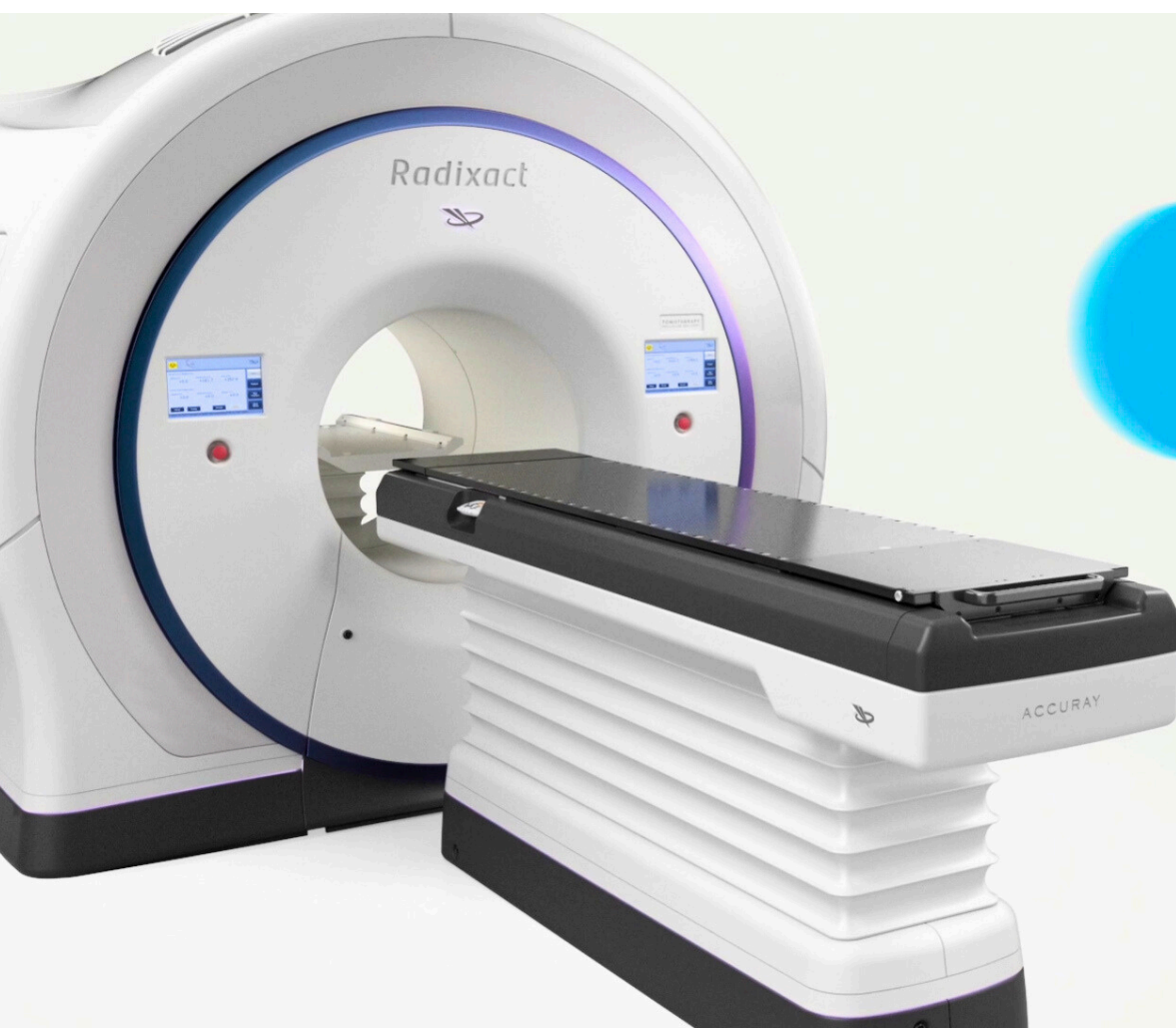


放射線治療で支える 地域のがん診療

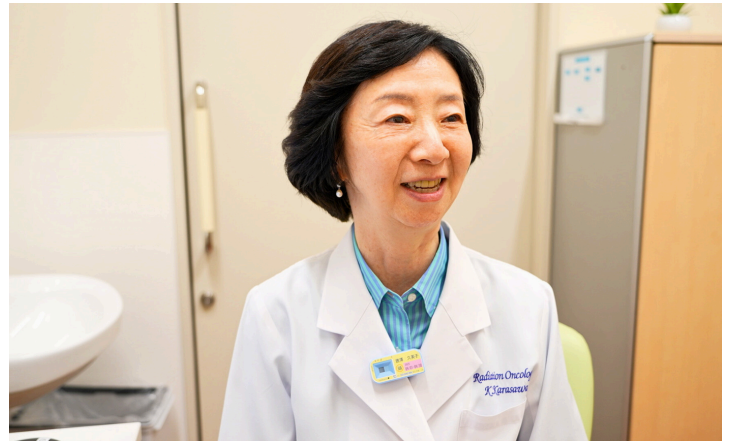
社会医療法人 河北医療財団
河北総合病院



手術や抗がん剤が 難しい患者さんにも 安全で低侵襲な治療選択肢を

身体への負担を抑える“切らないがん治療”

放射線治療は身体への負担が少ない低侵襲治療として、多くのがんに適応されます。1回の照射は約2分と短時間で、通院期間中も仕事・家事・学業など普段どおりの生活が続けられる点が大きな特徴です。手術や強い抗がん剤が難しい患者さんにも適応しやすく、前立腺がん・肺がん・膵がん・食道がん・喉頭がんなどでは第一選択の一つです。治療効果と機能温存の両立を目指せるため、高齢の患者さんにも現実的かつ安全性の高い選択肢となります。

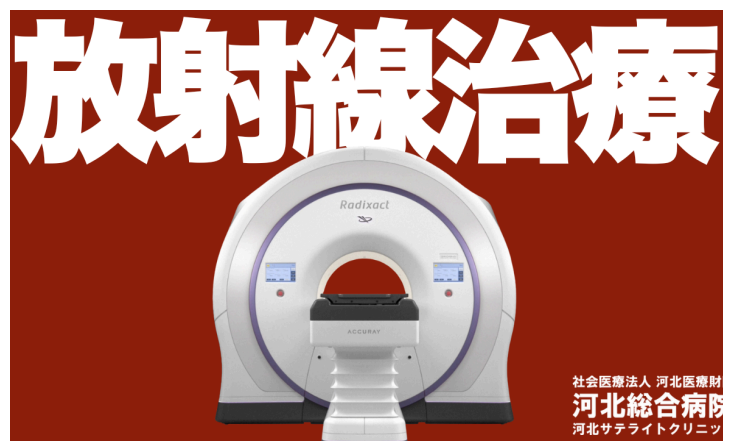


専門チームが支える “精密で安全な放射線治療体制”

河北総合病院では、放射線腫瘍医・医学物理士・放射線技師が連携し、精密な線量計算と品質管理を徹底した治療体制を構築しています。特に医学物理士は安全性と治療精度を支える重要な専門職で、高度な治療を実現する要となります。経験豊富なスタッフがそろうことで、患者さんは安心して治療を受けることができ、杉並区内で高度ながん治療を完結できる点は紹介元医療機関にとっても大きなメリットです。



唐澤久美子 部長の
解説動画はこちら



【患者さんのご紹介はこちら】

河北総合病院 地域連携課 03-3339-2152（直通） 月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～12:00 ※祝日休